

歴史認識を深めていく社会科学習の在り方
～ドン・ロドリゴと江戸幕府のつながりを通して～

1 主題設定の理由

グローバル化が進む今日においては、異文化に接する機会が多くなっている。このような中で、生徒は、異文化を理解し文化の異なる人々と共生していかなければならない。異文化理解のためには、自身の国の文化を知ることが欠かせない。歴史認識を深める学習は、自身の国の文化を知ることである。深める過程として、夷隅地域の地域素材であるドン・ロドリゴと江戸幕府のつながりを考えさせ、中央での歴史的事象を地域の歴史的事象という視点から見ることで、多面的・多角的な思考を身に付けさせたい。多面的・多角的な思考を身に付けることにより、異文化を受け入れ共生できる人材を育てることは、グローバル化が進む現代において、意義があるものと考ええる。

2 研究目標

地域素材を用いたり、意思決定型の授業を取り入れることで、歴史認識を深めていく指導の在り方について実践を通して明らかにする。

3 研究仮説

仮説1 地域素材を用いて地方史と中央史のつながりを考えさせれば歴史認識を深めることができるであろう。

仮説2 意思決定型の授業を取り入れ、根拠をもって考えを表現させれば、歴史認識をさらに深めることができるであろう。

4 研究内容

- (1) 地域素材について
- (2) 授業実践
- (3) 授業の考察

5 研究のまとめ

- ・身近な地域での歴史的事象と中央での歴史的事象のつながりを、地域素材を用いることで考えさせることができた。
- ・意思決定型の授業を取り入れることで、根拠が明確になり、その根拠をもとにした対策法も考察できるなど、さらに発展した内容の記述も見られた。
- ・今回の地域素材を用いたことにより、その他の身近な地域の歴史的事象への興味・関心を広げるきっかけとなった。

研究主題 歴史認識を深めていく社会科学習の在り方

～ドン・ロドリゴと江戸幕府のつながりを通して～

1 主題設定の理由

(1) 今日の社会的課題から

交通機関や情報技術の発達によりグローバル化が進む現代では、人や食、インターネットなどを通じて、異文化に接する機会が多くなっている。生徒たちは、文化の異なる人々とともに、これからのよりよい社会をつくっていく人材である。文化の異なる人々と共に生きていくためには、たがいの文化の異なる点を受け入れつつ、理解し合うことが欠かせない。互いの文化を知り、受け入れるためには、まず、自らの国や地域の文化を理解していなければならない。歴史認識を深めていくことには、自らの国や地域の文化が形作られてきた過程を知ること含まれており、自らの国や地域の文化を理解するため、歴史認識を深めることは重要である。

また、こうした社会状況から、生徒は、一面的なとらえ方ではなく、多面的・多角的な思考を身につけていく必要がある。そして、その思考を公正な判断や適切な表現という形で相手に示したり伝えたりすることも必要である。

以上のことから、歴史認識を深めていく中で、日本や身近な地域の文化が形作られた過程を知り、その文化を理解するきっかけとしたいと考えた。そこで、本研究では生徒にとって身近な地域の歴史的事象として、ドン・ロドリゴという人物を取り上げた。ドン・ロドリゴと江戸幕府のつながりを考えることで、身近な地域や日本の文化が形作られてきた過程を知る一助となると考えた。また、歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断する過程を通して、さらに歴史認識が深まると考え、本主題を設定した。

(2) 歴史認識について

本研究における歴史認識とは、歴史的知識を土台として、個人としての歴史的見方・考え方、歴史観を主体的に作り上げたものとする。松元伊知郎氏は、歴史認識とは「科学的な思考操作に自らの意思決定を加えて、積極的・主体的に作りあげた歴史像」と述べている。

社会科における知識と思考力について、澤井陽介氏は『『知識』は『考える』ためのツール』であり、『『思考』につながる知識をしっかりと獲得し』、そうした『知識を活用して、課題を解決するためによりよく考え、確かな理解につなげましょう』と述べている。

歴史的事象について基礎的な知識を活用し思考する過程では、思考することによって基礎的な知識が定着し、その知識によってさらに深く思考することができるという基礎的な知識と思考する力の相互作用が働く。深い思考には、自分なりの根拠を持った判断をすることや、基礎的な知識を用いた表現をすることが大切である。歴史的事象に対し自分なりの根拠を持った判断や基礎的な知識を用いた表現をすることを通じて、歴史的事象を理解することや新たな発見や気づきを得ることなどの歴史認識を深めることができる。このように、基礎的な知識と思考する力・判断する力・表現する力が、相互に関連し合うことで歴史認識が深まると考えた。

2 研究目標

地域素材を用いたり、意思決定型の授業を取り入れることで、歴史認識を深めていく指導の在り方について実践を通して明らかにする。

3 研究仮説

仮説1 地域素材を用いて地方史と中央史のつながりを考えさせれば歴史認識を深めることができるであろう。

仮説2 意思決定型の授業を取り入れ、根拠をもって考えを表現させれば、歴史認識を深めることができるであろう。

(1) 仮説1について

本研究では、地域素材としてドン・ロドリゴが御宿町に漂着し救助されたことを取り上げた。救助されたロドリゴが徳川家康と謁見し、日本とスペインの貿易に関する交渉が行われたことが、中央での歴史的事象である鎖国にどのように影響を与えたのか考えさせたい。この思考の過程で、身近な地域での歴史的事象を学んだことによって中央での歴史的事象の理解が深まり、また、中央での歴史的事象を学んだことによって身近な地域での歴史的事象の理解が深まる。このようにつながりを考えることで、身近な地域での歴史的事象の学びと中央での歴史的事象の学びが行きつ戻りつしながら、双方の歴史認識が深まるであろうと考え、本仮説を設定した。

(2) 仮説2について

授業を意思決定型とすることによって、生徒は既習の知識を活用し判断をすることになる。判断には根拠があり、この根拠を考える過程で複数の基礎的な知識を比較したり、統合したり、選択したりする。これは、多面的・多角的に考察することであり、さらに歴史認識が深まるだろうと考え、本仮説を設定した。

4 研究内容

(1) 地域素材について

本研究では、夷隅地域の地域素材として、1609年にドン・ロドリゴが御宿町の岩和田海岸に漂着し救助されたことを取り上げた。ドン・ロドリゴは、生徒たちにとって自分たちや友だちが参加している駅伝大会の名前になっているなど、身近な存在である。このような状況から、ドン・ロドリゴは仮説1の身近な地域での歴史的事象に該当すると考え、地域素材として取り上げた。

(2) 授業実践

江戸幕府の成立と鎖国の単元で実践を行った。指導計画は以下の通りである。

指導計画（全6時間）

時配	学習目標	評価規準
1	幕藩体制の仕組みの工夫を資料から読み取ることができる。	教科書の地図を活用し、幕府の権力と大名の配置との関係を考えることができる。 【資料活用の技能】
1	江戸時代のくらしを現代と比較することができる。	身分制度の下に置かれた家族とその生活に関心を持ち、現代と比較しながら追求しようとする。 【関心・意欲・態度】
3	鎖国をした理由を考えることができる。	江戸時代初期の国内・国外の状況と関連させて、禁教や貿易統制の政策の目的を考察できる。 【思考・判断・表現】
1	江戸時代の「四つの窓口」の役割が理解できる。	「四つの窓口」が、江戸時代の貿易・外交・文化に果たした役割を理解できる。 【知識・理解】

以下は、授業実践の様子や生徒の考察の様子である。

4 時間目

学習活動 S:生徒の反応	時配 形態	・教師の動き T:発問や声掛け
1 写真から国吉とドン・ロドリゴとの関係について考える。 S:ロドリゴ駅伝だ。 S:〇〇先輩が写っている写真かな。 S:ロドリゴさんってこんな顔なんだ。 S:身分が高そうな服を着ているな。	5分 全体	・ロドリゴ駅伝大会の写真とロドリゴの肖像画を提示し、興味・関心をもたせる。 T:これは何の写真でしょうか。 T:これはロドリゴ駅伝の写真です。そして、ロドリゴはこんな人です。
2 遭難事故が起きた際の時代背景について確認する。 S:かわいそう。 S:御宿の人が助けてあげてる。 S:御宿の人は優しいなあ。	5分 全体	T:ロドリゴの乗った船が壊れて遭難してしまいました。漂着したのが御宿町だったのです。その時の様子がこれです。 ・「サン・フランシスコ号乗員遭難救助」を提示し、出来事について確認させる。
3 ロドリゴが漂着し、メキシコに帰国するまでの経緯をワークシートにまとめる。 S:ロドリゴ駅伝のコースと同じだ。 S:だからロドリゴ駅伝っていうのか。 S:国吉も通ったかもしれないね。 S:船を用意してあげるなんて家康は優しいな。	5分 全体	T:救助されたロドリゴは大多喜城・江戸・駿府へと行って、大多喜城の殿様や当時の將軍だった徳川秀忠や將軍を引退していた徳川家康に会いました。そして、家康に帰るための船を用意してもらい帰国しました。
仮説1 ロドリゴの動きを整理することで、駅伝大会とのつながりに気付くことができた。この気づきによって、身近な地域の出来事であるという実感が深まった様子であった。		
S:なぜ話し合ったのに鎖国になったのかな。 S:要求を叶えてもらうために家康は船を用意したんじゃないかな。		T:ロドリゴは身分の高い貴族だったので、ロドリゴと家康が会ったときに、貿易についての話し合いが行われました。お互いに要求を出し合いましたが、日本はその後鎖国となりました。
仮説1 話し合いが行われたが鎖国になったという点について、疑問を持つことができた。この後の学習活動につなげることができた。		
4 学習課題を把握し、ロドリゴと家康それぞれの要求内容を予想し、班で意見を出し合う。 ＜ロドリゴの要求＞ S:キリスト教を広めさせてほしい。 S:キリスト教の信者たちが集まれる教会をつくらせてほしい。 S:日本でとれる銀を分けてほしい。 ＜家康の要求＞ S:助けてあげるかわりに貿易してほしい。 S:銀の精錬技術を教えてほしい。 S:キリスト教を広めないでほしい。	5分 10分 班	T:なぜロドリゴへの対応が変わったのか要求内容が分かれば、考えられそうですね。では、ロドリゴ、家康それぞれの立場に立って要求内容を考え、ワークシートに書いてみましょう。 ・考える材料として、当時の日本の様子とスペインの様子を黒板に示す。
学習課題 ロドリゴへの対応が変わったのはなぜか。		
【班ごとの話し合い】 S:交渉だから、ギブアンドテイクじゃないと平等じゃない。 S:家康は銀の精錬方法が知りたいけど、キリスト教は広められたくないと思う。 S:ロドリゴは何がほしいのかな。 S:条件付きで貿易を行うことにすればいいんじゃないかな。		仮説1・2 要求内容に「銀の精錬技術」や「キリスト教」といった言葉が使われていた。このことから、ドン・ロドリゴと江戸幕府のつながりを考えることができていることが分かる。また、要求内容を考えるにあたって、日本やスペインの当時の状況が基礎的な知識となり、生かされていた。
5 班ごとに発表し、意見交換を行う。 ＜家康の要求内容＞ S:スペインと貿易を行うこと。 S:銀をあげるから精錬技術を教えてほしい。 S:帰る船とお金をあげるから銀の精錬技術を教えてほしい。	5分 全体	T:各班でどんな意見が出たのか発表しましょう。

<ロドリゴの要求内容> S:銀の精錬技術を教えるから、日本のキリスト教徒を殺さないでほしい。 S:銀の精錬技術を教えてあげるかわりに銀がほしい。 S:貿易をするかわりに、キリスト教を広めさせてほしい。	仮説 2 班ごとの意見交換を行ったことにより、スペインと日本両方の立場から、要求内容について考えることができた。
6 日本とスペインの貿易が行われなかった経緯について整理する。 S:技術をよく知っている人の派遣を要求するなんて、家康は頭がいいな。 S:スペインからの要求が多すぎる。 S:日本と平等じゃない。 S:スペインとオランダは仲が悪かったのかな。	5分全体 ・家康がドン・ロドリゴに要求したこと（メキシコとの直接交易・銀の精錬技術を学ぶための鉱山技師の派遣）と、ロドリゴが家康に求めたこと（銀の4分の1をスペイン国王に献上・スペイン船の保護・カトリック教会設置の容認・オランダ人の日本からの追放）を知らせる。
7 本時の授業のまとめをする。 S:ロドリゴがキリスト教を広めようとしたから。 S:交渉がうまくいかなかったから。 S:助けてあげたのに理不尽な要求をしてきたから。 S:日本の利益が少なかったから。	10分全体 T:話し合いや実際の要求内容をふまえ、ロドリゴへの対応が変わったのはなぜかワークシートに記入しましょう。 仮説 1・2 スペインとの貿易が行われなかった理由を、ドン・ロドリゴと関連させて考えることができた。また、交渉内容から、宗教面、経済面などの複数の視点から貿易が実現しなかった理由を考えることができた。

5 時間目

学習活動 S:生徒の反応	時配 形態	・教師の動き T:主な発問や声掛け
1. 資料を見て、前回までの学習内容を確認する。	5分全体	・資料を提示しながら、内容について問いかけ、内容が確認できるようにする。
2. 学習課題を把握する。 学習課題 自分が将軍だったら、鎖国をするかしないか。	5分個	・ワークシートに記入させ、学習課題が把握できるようにする。
3. 学習課題について、自分の考えを理由も合わせてワークシートに記入する。 鎖国する S:キリスト教が広まると島原・天草一揆のような反乱が起こるかもしれないから。 S:スペインからの理不尽な要求に対応できないから。 S:スペインに銀をあげたくないから。 鎖国しない S:スペインから精錬技術者を呼んで技術を教えてもらおうと思ったため。 S:鎖国しない方が不満になる人が少なくなり平和になりそうだから。 S:広い範囲で貿易を行った方が利益が得られると思ったから。	7分個	・前回の意見から変わってもよいことを伝える。 ・机間指導で理由の書けていない生徒に声かけをする。 T:鎖国をする(しない)とどんな良いことがありますか。 仮説 1 前回の学習内容である、銀の精錬技術やキリスト教の布教などのキーワードを、意思決定の理由として記述している生徒が多かった。
4. 鎖国をするかしないか、名札を黒板に貼り全体で考えを共有する。 	3分全体	・黒板に名札を貼り、それぞれの立場が明確になるようにする。 ・名札の結果から、「する」意見と「しない」意見の両方がいるように、全体を3~4人のグループに分ける。

5. グループで意見を發表し合う。 S:鎖国をすると銀の精錬技術を知ることができないから、銀がもったいない。 S:鎖国をしないと反乱が起こって、幕府が倒されるかもしれない。 S:鎖国をすると、不満を持つ人が増えて反乱も増えるんじゃないかな。 S:鎖国をしてもしなくても、反乱の可能性がなくなることはないと思う。 	8分 グループ	T:発表するときは理由も合わせて言いましょ。発表を聞きながら、ワークシートのメモ欄を活用しましょ。 ・机間指導で各班に声掛けをする。 T:今の意見について、どう思いますか。
6. 全体で意見を發表し合い、鎖国をする場合としない場合の、メリットやデメリットを確認する。 <u>鎖国する</u> S:反乱(キリシタン)が起こりにくい。 S:キリスト教を広めなくて済む。 S:さらに反発する人が出るかもしれない。 <u>鎖国しない</u> S:貿易の利益が得られる。 S:反乱が起きるかもしれない。 S:技術が進む(銀の精錬法など)。 S:不満の人が少ない。	10分 全体	T:発表を聞きながら、ワークシートにメモを取りましょ。 ・発表の要点を黒板に書き、メリットとデメリットが明確になるようにする。 ・はじめの発表を受けて、もう一方の意見の生徒に「今の意見について、どう思いますか」と問いかけた。
7. 話し合いの内容をふまえて、もう一度鎖国するかしないか考え、理由も合わせてワークシートに記入する。 8. 意見を發表し合い、それぞれの立場の理由と考えを全体で共有する。 鎖国する S:鎖国すれば、外国からのキリスト教の侵入を防げて、さらにキリシタンの反乱も防ぐことができるから。安全一番だと思う。 鎖国しない S:もしも反乱が起きてしまった時には、お金があるから止められる可能性もある。外国とたくさん交流した方が、日本にとってプラスなことが多いと思う。	7分 個 5分 全体	T:話し合いをふまえてもう一度鎖国するかしないか考え、理由と一緒に自分の意見をワークシートに書きましょ。 ・「する」「しない」それぞれ2名程度に発表させ、両方の意見を全体で共有する。
		仮説1・2 事象を多面的・多角的に考える過程で、これまでの学習内容を活用していた。また、貿易・宗教・反乱など様々な視点から鎖国について考えることができていた。

(3) 授業の考察

【仮説1について】

(授業の様子から)

- ・ドン・ロドリゴの動きを整理することで、駅伝大会とのつながりに気付くことができた。これによって身近な地域の出来事であるという実感が深まった様子であった。
- ・話し合いが行われたが鎖国になったという点について、疑問を持つことができ、この後の学習活動につなげることができた。
- ・鎖国について考える過程で、「貿易」「銀の精錬技術」「キリスト教」などの知識を活用していた。

(意思決定の理由から ※生徒の記述より抜粋、下線部は地域素材を用いた学習に関するもの)

生徒 A

1 回目

一度キリスト教を禁じたのに、またキリスト教の信者が来ると、広まってしまうと、
また、一揆が起ってしまうから

2 回目

・カトリック教会設置の容認をしてほしいとロドリゴに言われたいとキリスト教は、たぬおつゝ
銀目にはカトリックと思ひます。

3 冊 目

- ・貿易の利益が得られるし外国の文化を取り入れることができた
- ・ロドリゴが日本に来てまゝ要求が増えちゃう
- ・銀の精錬技術が手に入る

生徒 B

1 回 目

鎖国して入るお金が減り、一般の人たちが目にあてられなくなり、
キリスト教の布教で入るお金が少し減るくらいな感じがする。

2 回目

やっぱ、銀の精錬技術は、ほい、ナどキリスト教によてい事なし
ない代りさをおもひる人が増えたら、みるし、なにより、今の銀を無料で
南犬上したくないから。

3 回目

やはり鎖国した方がいいと思います。銀の精練技術は、ほしいもの自分たちでのかいはつていなくてはいけません。なによりかさをおそくする人だとのさまたてはかばていという考えで、キリスト教々々でふてきた人から。

生徒C

1 回目 (未記入)

2 回目

鎖国しない方が不満に感じる人が
少なくなり平和になりそうだと思う。

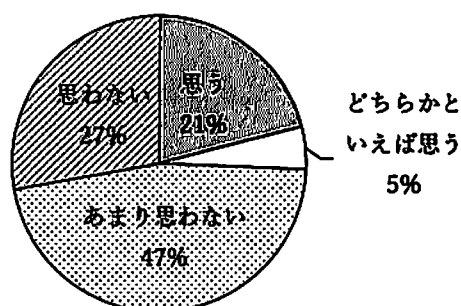
3 回 目

精進校舎にはしいけれど、キリスト教を日本に
 広めたいことと、国をふしめ争いを防げること
 を考え下す。精進校舎はほうがいいと思ったから。

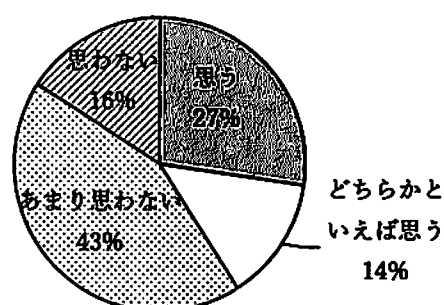
(事前・事後調査から) 対象 44 名

○いすみ市や夷隅地域での歴史的な出来事が日本全体の歴史に影響を与えたと思いますか。

グラフ 1



グラフ 2



事前調査

【思う・どちらかといえば思うの理由】

- ・一つの小さいな出来事でも歴史に影響すると思ったから。

- ・ニュースで報じられるから。

【思わない・あまり思わないの理由】

- ・そのような出来事を聞いたことがないから。

- ・教科書や年表にいすみの地名などが載っていないから。

- ・いすみは小さい地域だから。

事後調査

【思う・どちらかといえば思うの理由】

- ・ドン・ロドリゴと鎖国が関係していたから。

- ・ドン・ロドリゴなどが家康にも会い、貿易などについて話をしたりしたから。

- ・ドン・ロドリゴを勉強したから。

【思わない・あまり思わないの理由】

- ・ロドリゴ以外の人の名前を聞いたことがないから。

- ・きぼが小さいから。

<考察>

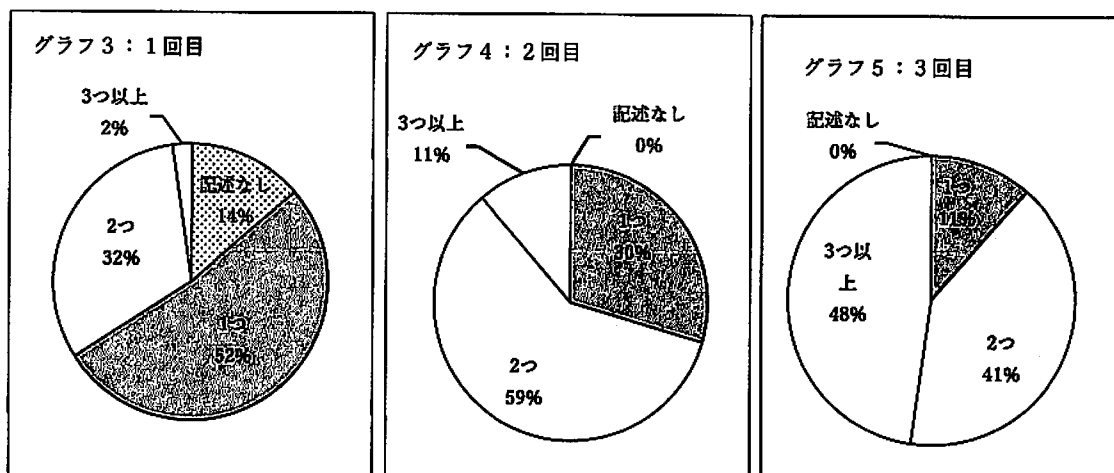
授業でドン・ロドリゴを取り上げたことで、スペイン側に立って貿易や鎖国について考えさせることができた。また、貿易や鎖国に関する日本側の立場も明確にすることができ、多面的・多角的に貿易や鎖国について考えさせることができた。授業後の意思決定の場面では、地域素材を用いた授業での学習内容を理由として記述している生徒が見られた。地域での歴史的な出来事が日本全体の歴史に影響を与えたかについての事前調査と事後調査では、「思う」「どちらかといえば思う」と答えた割合が、事前 26%、事後 41% となり、15% 増えた。このように、地域素材を用いた授業で、身近な地域での歴史的出来事のドン・ロドリゴと中央史の鎖国をつなげて考えさせ、歴史認識を深めることができた。

【仮説 2 について】

(授業の様子から)

- ・意見交換を行う場面では、「〇〇だったら～～する」といったような、他者と対話したり協働したりしながら自分と異なる意見や考えを受容し、新たな考えを持てる生徒が増えた。また、「やっぱり〇〇だ」といったように、これまでの自分の考えと照らし合わせながら自信を持った生徒もいた。
- ・全体で意見を発表し合う場面では、鎖国をするかしないかについての根拠を黒板に整理したことで、生徒の判断に迷いが生じ、意思決定のために根拠を比較、統合したりしていた。
- ・考える過程で、貿易・宗教・反乱など様々な視点から鎖国について考えることができた。

○理由数の変容



生徒D 理由数 $2 \rightarrow 2 \rightarrow 3$

・ かく貿易をどんと行、て利益を得ていたのに、中国とオランダだけにな、て利益が少なくなったから。

・ キリスト教との考え方が違、うためキリスト教徒に反乱されたら幕府でも応戦できないから。

ドン=ロドリゴによる要求でカトリック教を設置したことにより、
日本にデメリットが増加。さらに島原・天草一揆といった反乱をすれば
よけいに面倒になるから。

鎖国をしても反乱を防げるかさらに反撃するかは予想がつかない。
しなくても、もっと要求やリミタニが増えるかもしれないがそこを対応して
年貢の調節をすれば反乱も起こらず貿易や銀の利益も増えるのでは
ないかと考えた。

1 回 目

[illegible]

キリスト教の力があるから、この宗教は、 R 。うまい
貿易で、 T と S に、 T 。日本には、利権が、 T と S と R と S と
と、 R と S と。

3回目

鎖国すればキリスト教の布教がなくなってしまえば、
かえりてキリスト教の布教がなくなってしまえば、
キリスト教の布教がなくなってしまえば、
キリスト教の布教がなくなってしまえば、

生徒F 理由数 1→2→2

1回目

鎖国をしないともキリスト教徒が増えるし、でもやっぱり鎖国をする
と貿易ができなくて利益もないし、一揆もあきるから易しく鎖国
する。

2回目

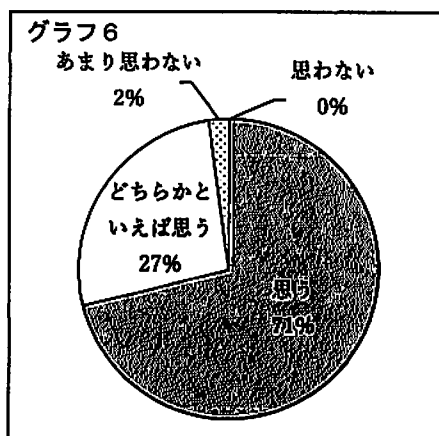
鎖国をすればキリシタンは入ってこなければ、限られた国としか貿易が
できないし、島原・天草一揆のような事を起こされると幕府が滅びてしまうから。

3回目

鎖国をしないともキリスト教は入ってきてしまうけれど、鎖国をすると、
貿易が少ししかできなくなるから、鎖国はしないで、各国と物だけ貿易
をして、人をいれなければキリスト教は入ってこないと思うから鎖国をしな
くてよいと思う。

(事後調査から) 対象 44 名

○「自分の考えを決める」スタイルの授業は、鎖国について考えるために役立ったと思いますか。



<考察>

生徒たちは、鎖国をするかしないか、意思決定をする過程で、キリスト教などの宗教・日本国内の反乱・貿易の利益・銀の精錬技術など、複数の基礎的な知識を比較・統合・選択し、多面的・多角的に考察していた。この考察により、鎖国するかしないか判断した理由の記述に変化

が見られた。一つ目は、根拠の数が1回目の判断時よりも3回目の判断時の方が複数になったことである。二つ目は、生徒AやCのように自分の判断したことを振り返って、新たな課題を見つけるなど、より発展した内容となったことである。事後調査では、98%の生徒が意思決定型の授業が、鎖国について考えを深めるのに役立ったと答えている。このように、意思決定型の授業を取り入れ、根拠をもって考えを表現させることによって、生徒の歴史認識を深めることができた。

5 研究のまとめ

(1) 成果

- ・身近な地域での歴史的事象と中央での歴史的事象のつながりを、地域素材を用いることで考えさせることができた。
- ・意思決定型の授業を取り入れ、生徒同士の多様な感じ方や考え方に接することで、多面的・多角的な考え方ができるなど、さらに発展した内容の記述も見られた。
- ・今回の地域素材を用いたことにより、学区内から狩野派の祖である狩野永徳が生誕していることに目を向けるなど、その他の身近な地域の歴史的事象への興味・関心を広げるきっかけとなった。

(2) 課題

- ・地域素材を指導計画の中にどのように位置づけるか。
- ・話し合い活動における深い学びにせまる手立てをどのように構築するか。

資 料 編

1 授業実践

(1) 黒板に提示したもの

①ロドリゴ駅伝



②ドン・ロドリゴ



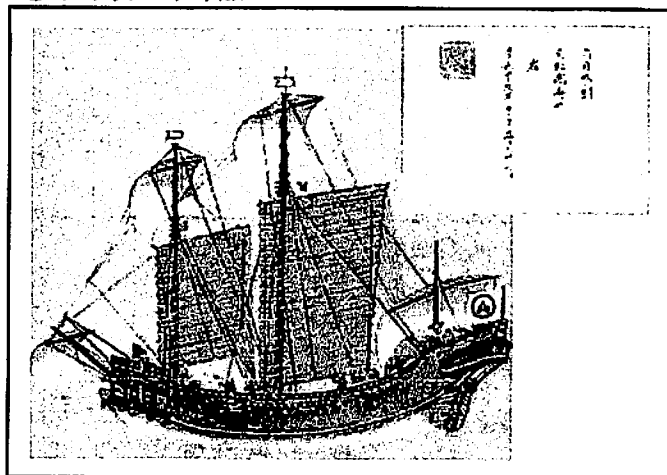
③サン・フランシスコ号遭難救助



④島原・天草一揆



⑤朱印状・朱印船



⑥家康・ロドリゴの要求

家康の要求

- ・メキシコとの貿易
- ・銀の精錬技術者の派遣

ロドリゴの要求

- ・日本の銀の4分の1を献上する
- ・スペイン船の保護
- ・カトリック教会設置の容認
- ・オランダ人の日本からの追放

(2) ワークシート

① 4 時間目

3 貿易の原則から鎖国へ

2年 組 番 名前

学習課題

<ドン=ロドリゴと実地地図>

・1609年()に原目し廻けられる → ()

→ () → () → 日本からお金と船を借りて帰国

<ロドリゴと幕府の交渉>

～当時の状況～

船の積載技術

- ・世界の3分の1の船が日本でとれた
- ・日本の方法→半分が無駄に
- ・スペインの方法→ほぼ無駄にしない

日本

- ・朱印船貿易を再開

スペイン

- ・キリスト教を広めたい

○それぞれの立場で要求内容を考えてみよう！

立 場 _____

要求内容

まとめ

幕府の対応が変わった。

②意思決定 1 回目

記入日 月 日 ()

2年 組 番 名前

・将軍だったら、鎖国をする？しない？

100%

鎖国する度

鎖国しない度

0

100%

<理由>

.....

.....

.....

.....

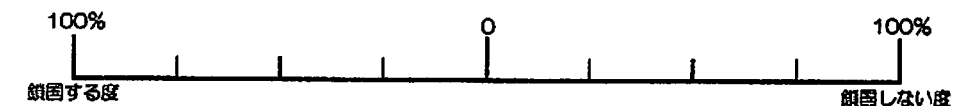
.....

3 貿易の振興と鎖国

2 年 組 番 名前

学習課題

<自分の考え 1> 前回までの授業を振り返って考えよう。



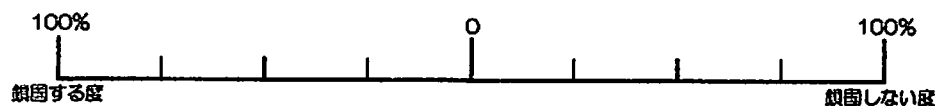
理由

<話し合いメモ>

【グループ】

【全体】

<自分の考え 2> 今回の話し合いを通して、もう一度考えよう。



理由

2 生徒の記述 ※ワークシートより抜粋

(1) 日本とスペインの貿易に関する要求内容

立場 家康

要求内容	ロドリゴの要求
・助けをあげる代わりに貿易してほしい	・日本の銀の半を献上
・スペインと合同で銀の精錬 → 世界	・スペイン船保護
	・カトリック教会設置
	・オランダ人の日本からの追放

立場 徳川家康

要求内容	キリスト教の布教 (カトリック教会設置希望)
ロドリゴの安全をほしいうる代わりに	スペイン船の保護
銀の精錬技術と朱印貿易を交換	日本に銀の半分の献上
興をおねがひしたい。	オランダ人の追放
お礼としてお返しにロドリゴをバネジヘカス。	

立場 徳川家康

要求内容	ロドリゴ
・帰らせてあげるから、	・日本の銀の半を献上
・精錬技術を教えて	・スペイン船を保護
・朱印貿易の伝達	・カトリック教会設置の希望
・スペインと合同して銀を作る	・オランダ人(プロテスタント)の
つ世界に売ってもらう	日本からの追放
	・精錬技術を教えて
	もうおれに、
	メキシコに帰す

立場 ドン=ロドリゴ

要求内容	家康
銀の精錬技術を教えるから	・ロドリゴとの貿易
キリスト教を布教してほしい。	・銀の精錬技術者の派遣
	ロドリゴ
	・日本の銀の半を献上してあげ、
	・スペイン船の保護
	・カトリック教会設置の希望
	・オランダ人を日本から追放

立場 ドン=ロドリゴ

要求内容	家康の要求
・銀の精錬技術を	・スペインとの貿易
教える代わりに帰国させて	・銀の精錬技術者の派遣

(2) 日本とスペインの貿易が行われなかった理由

まとめ

ロドリゴがキリスト教を布めようとしたため

幕府の対応が変わった。

まとめ

ロドリゴの要求の中にキリスト教に関する
物があったから。

幕府の対応が変わった。

まとめ

ロドリゴの要求がキリスト教の布教だと日本と違ふ考えをしていたから。

幕府の対応が変わった。

まとめ

(要求)
ロドリゴと家康の交渉がうまく成立しなかったから。

幕府の対応が変わった。

(3) 意思決定の理由 (抽出生徒 15 名)

No	鎖国する・しない	理 由
1	① しない	キリスト教徒が増えて反乱を起こすのはこわいけど、貿易で色々な物を手に入れたいから。
	② しない	せっかく銀の 3 分の 1 が日本で取れるのに、半分以上無駄にしてしまうのはもったいないから、スペインから精錬技術者を呼んで技術を教えてもらおうと思ったため。
	③ する	反乱が起きるとやっぱり大変だから、鎖国する国を増やして、貿易すればいいかなと思ったから。
2	① しない	貿易ができなくなり、年貢の負担が大きくなるから。長く続かなくなるけど反対する人が出てしまうから。
	② する	鎖国をしないと、幕府の指示が通らなくなる恐れがあるから。しかし、貿易をしないと技術面が弱くなってしまい武器の生産が少なくなってしまうから。
	③ しない	反乱が増えてしまうかもしれないし、貿易で新しい技術が入ってくるかもと考えたから。さらに、幕府への不満がなくなり平和になると思ったからと、より戦力が上がり信頼されると思うから。
3	① する	鎖国して、オランダと中国のみにするとその分貿易の利益が減ってしまうから。たくさんの国と貿易をした方がいろいろなものも手に入るし、新しいことが発見できると思ったから。でも、鎖国をしなかった場合、ものが多く入るから、前よりもっと身分の差が出てしまうかもしれないから。
	② しない	鎖国してしまうと、貿易できる国が限られてしまって、利益も減ってしまうから。貿易での品物も減り、外国との交流もなくなって、新しいものを取り入れることができなくなってしまうから。しかし、キリシタンの反乱も考えて、条件を付けて貿易をすればよいと思う。
	③ しない	鎖国すると、反発する人がいて、より反乱がおこりやすくなるから。もしも反乱が起きてしまった時には、お金があるから、止められる可能性もある。外国とたくさん交流したほうが、日本にとってもプラスなことが多いと思うから。

4	①	する	キリスト教が広まりすぎると、危険だが、外国との貿易はしたいから鎖国するにした。
	②	する	ヨーロッパの精錬の仕方は知りたいがカトリック教会を設置すると、キリスト教徒の反乱がおこる可能性があるから。
	③	する	やっぱりカトリック教会を設置すると、キリスト教徒の数が増えて幕府にしがわなくなり、反乱が起こるかもしれないから。
5	①	する	金をもうけるために貿易も少しはしたいけど、キリスト教徒が一揆を起こすから、その人たちをたおして、国内のキリスト教をなくし、貿易はキリスト教を信仰していない国をできるだけ貿易をしたいから。
	②	する	キリスト教が広まったりしないように鎖国をしたいが、外国の技術を日本に入りたいし、さまざまな貿易を色々な国としたいから、一部の国と鎖国して、その他の国とは普通に貿易したいから。
	③	する	国どうしの争いを防いだり、キリスト教を広めないようにしたいが、それでは貿易ができないから、キリスト教を信仰している国を鎖国し、それ以外の国とは普通にしていこうと思うから。キリスト教を信仰している国からキリスト教徒が入ってきて、キリスト教の人と仏教の人が争い、反乱が起こってしまうから。だから少しは鎖国をしたほうがいいと思った。
6	①	する	理由は、天草四郎のような一揆を起こす人が増えたら困るし、キリスト教徒も反乱を起こすのがこわいから。
	②	する	鎖国しないと、反乱などが起こり、幕府に負担がかかってしまうから。
	③	する	鎖国をしないと反乱が起こったりするけど、鎖国をしないと、技術が進むなど、いいこともあるから、鎖国をしないとはいえ切れない。
7	①	しない	鎖国をしてしまうと、貿易の利益を得られず、お金ももらえないから。お金がもらえず、お城などを築くことができなくなってしまうから。貿易で物を得ることができるから。
	②	する	キリスト教が再び日本に広まってしまうたら禁教令を出した意味がないから。貿易はできなくなるが、キリスト教を日本に広めないことの方が重要だから。
	③	しない	日本の技術が発展するから。キリスト教を再び日本に広めれば、一揆などが起こりにくくなると思うから。銀の精錬法を使って、効率よく銀を手に入れることができるから。
8	①	しない	鎖国しても、貿易とかが思いどおりにできないから。
	②	しない	島原の乱などのキリシタンの反乱がおこった理由は、キリシタンの幕府に対する不満が高まっただけだから、それを解消しようするために何かすれば、さこくはしなくてよい。
	③	しない	やっぱり、鎖国をしてしまうと、貿易での利益もへってしまうと思うし、キリシタンからの反感も買うと思うからやんない方がいいと思いました。
9	①	しない	鎖国はしない。一揆がおこりやすくなるから。
	②	する	貿易はしたいけど、キリシタンの反乱が起こるとそれどころじゃないし、安全が一番だと思うから。メキシコ以外でも貿易できるところがあるから。
	③	する	鎖国すれば外国からのキリスト教徒の侵入や、他の宗教などの侵入を防げて、さらに、キリシタンの反乱も防ぐことができるから、鎖国はした方がよいか。メキシコとの貿易やスペインの精錬技術の導入ができないのは欠点である。しかし、安全一番だと思うし、実際は大丈夫だったので、鎖国した方がいい。
10	①	する	完全に鎖国をしないと、どんどんいろいろな文化が入ってきてしまうので。でも利益を少し得たいから。
	②	しない	完全に鎖国をすると、利益があまり得られないし精錬技術が欲しいから鎖国しない。貿易をゆうせんにするけれど、条件をつけて貿易をする。外国の技術や、食べ物がほしいから。利益がほしいから。
	③	する	鎖国をすると思う点はキリスト教が反発する可能性があるからです。鎖国をしてしまうと精錬技術もほしいし、外国の他のこうかな物が得られない。でも鎖国しないと、キリスト教が入ってくるし、相手の要求に対応できないから。
11	①	しない	鎖国しないほうが貿易をする上で、利益が多いと思う。キリスト教徒もあまり気にならないと思うし、でも完全に鎖国しないのは幕府として危ないので少し(一部)規制する方がよいと考えた。
	②	しない	鎖国しない方が貿易ができて、日本の利益が大きいのと思ったから。しかし、キリスト教が広まるのはあまり良いとは思えない。
	③	しない	日本が貿易すれば利益になると思った。キリシタンが反乱するのも防ぎたいので、制限つきで貿易したほうがいいと思う。
12	①	する	キリスト信者を入国させずに、国内にいる信者を根だやしにしてとにかく日本からキリスト教と信者をなくす。この制度をしたのち、貿易相手国を広めて2つだけでなくたくさんの国と貿易をする。
	②	する	貿易内容が自国相手国ともに平等になるようにする。完全に鎖国して貿易制限せずに、港にキリスト教が入らないか確認する場所を設置すればキリスト教の流動が防げ、貿易できるから。
	③	する	不利な内容で貿易とキリスト教を求められたら、輸出品でなんとか和解してキリスト教もあきらめてくれるようにし、絶対反対ではないけれどキリスト教禁止の方向で鎖国する。そうすれば貿易もたくさんの国とできるから。

13	①	する	(未記入)
	②	する	貿易などをさかんにしたいけど、キリスト教が広まってしまうから。
	③	しない	話し合いをして、鎖国するとキリスト教を広めずにすむけど、不満を持つ人たちが反乱を起こすかもしれないし、技術が遅れてしまうから。
14	①	しない	お金をもうけたいから、鎖国したくないけど、日本独自の文化もくずされたくないから少ししよう。でも完全に外国の文化を消さなくてもいいと思うから鎖国しない。
	②	しない	ロドリゴの要求が多いから少しまよったけど、銀を半分以上捨ててしまうのはもったいなさすぎるから。あと、外国と貿易をしておけば、後々、便利になってくると思う。(お金が手に入るから)でも、日本の文化が他の宗教によって完全になくなってしまいかもしれないから絶対に鎖国しないとは言えない。
	③	する	他の人の意見を聞いて、「鎖国しないと反乱が起こってしまう」というのは、確かにそうだなと思ったから少し、鎖国する方に近づいたけど、でもやっぱりしない方がいいと思う気持ちもある。(理由は前と同じ)
15	①	しない	日本では手に入らない物を輸入で手に入れることができるし、輸出することで利益があるから。
	②	しない	日本じゃ手に入らないものが手に入るし、輸出もして利益を得る事ができるから、貿易はするけど条件付きで最小限にする。
	③	しない	グループ全体で考え、日本じゃ手に入らない物が手に入ったり、日本の利益が大きくなったり、他国の文化も取り入れたりたくさんメリットがあったから。

3 アンケート調査結果

(1) 事前 (対象 44 名)

No	質問内容	人数 (割合%)			
		ある・思う	どちらかといえば ある・思う	あまり ない・思わない	ない・思わない
1	歴史の授業に興味がある	20 (45.5)	16 (36.3)	7 (15.9)	1 (2.3)
2	興味のある時代 ※複数回答	・縄文時代：2 ・三国時代(中国)：1 ・飛鳥時代：1 ・平安時代：5 ・鎌倉時代：1 ・室町時代：4 ・大航海時代(西洋)：2 ・戦国、安土桃山時代：16 ・江戸時代：7 ・明治時代：6 ・昭和時代：3			
3	世界の歴史が日本の歴史に影響を与えた出来事を知っている	○			×
		9 (20.5) ・アジアから仏教が伝えられ、今でも信仰されていること。 ・ペリー来航：2 ・文化 ・漢字が伝わった。 ・火縄銃 ・アヘン戦争 ・キリスト教の伝来 ※未記入：1			35 (79.5)
4	いすみ市・夷隅地域の歴史的な出来事について知っている	8 (18.2)	5 (11.4)	12 (27.2)	19 (43.2)
5	いすみ市・夷隅地域での出来事が、日本全体の歴史に影響を与えたと思う	9 (20.5)	2 (4.5)	21 (47.8)	12 (27.2)

(2) 事後 (対象 44 名)

No	質問内容	人数 (割合%)			
		ある・思う	どちらかといえばある・思う	あまりない・思わない	ない・思わない
1	歴史の授業に興味がある	23 (52.3)	13 (29.5)	7 (15.9)	1 (2.3)
2	いすみ市・夷隅地域での歴史的な出来事が、日本全体の歴史に影響を与えたと思う	12 (27.3)	6 (13.6)	19 (43.2)	7 (15.9)
	理 由	・ドン＝ロドリゴと鎖国が関連していたから。 ・この前学習したドン＝ロドリゴなどが家康にも会い、貿易などについて話をしたりしたから。:3 ・いすみから全国へ広まっていったものもあるから。	・具体的にはわからないけれど、何かしら与えたと思う ・ドン＝ロドリゴを勉強したから:2人 ・中川生まれの狩野永徳がいるから。	・日本全体に影響を与えるのはむりそうだったから。:5 ・いすみ市の歴史についてあまり知らないからです。 ・そこまでのいすみ市が有名でないと思うから。:3 ・ロドリゴ以外の人の名前を聞いたことがないから。	・きぼが小さいから。
3	ドン＝ロドリゴについての学習は、自分の考えを決めたり、深めたりするのに役立ったと思う	13 (29.5)	17 (38.7)	11 (25.0)	3 (6.8)
	どのように ※役立った場合のみ回答	・メリット・デメリットをわかったうえでどちらの選択をするか。 ・教科書に載っているような人たちだけで、日本の歴史が作られているわけではないと知れたこと。	・しっかり決めることに役立ちました。 ・自分で考える力がついた。		
4	自分の考えを決めるスタイルの授業は鎖国についての考えを深めるのに役立ったと思う	31 (70.5)	12 (27.3)	1 (2.2)	0 (0)

【出典・参考資料】

- ・平成 20 年 中学校学習指導要領 社会編
- ・「子どもの歴史認識を深めるディベート学習の理論と授業」松元伊知郎
(<http://repository.hyogo-u.ac.jp/dspace/handle/10132/14528>)
- ・東洋館出版「澤井陽介の社会科授業デザイン」澤井陽介著
- ・(有) 按針「ミステリアスな英国人 三浦按針の話Ⅱ～按針と家康の策略～」吉江宏著
- ・「ドン・ロドリゴの肖像」エル・グレコ作 (<http://rui4oyo.jugem.jp/?eid=2756>)
- ・「サンフランシスコ号乗員遭難救助」松本勝哉画 昭和 58 年 御宿町歴史民俗資料館 蔵
(<https://www.toshogu.or.jp/about/clock/>)
- ・島原・天草一揆 (<http://3kstyle.blog104.fc2.com/blog-entry-112.html?sp>)
- ・朱印船 (https://ダナン観光ガイド.com/hoi_an-world-heritage)
- ・「徳川家康交趾渡海朱印状」九州国立博物館蔵
(<http://collection.kyuhaku.jp/gallery/11066.html>)